

今回でとても原子力発電についての知識を得ることが出来ました、福井県民として詳しく知りたいと以前から思っていたのでとても嬉しい機会でした。得に政治家ならではの踏み込んだ知識や情報が凄く興味深く面白かったです、お忙しい中本当にありがとうございました。

初めて政治家の先生のお話をお聞きして新しく得たことが多くあって、例えば原発の地域は政治的に重要であることです。国としては原発を支持したいから、再稼働するために働きかけたいという行動はよく理解できますし、そのために補助金など税金があって財政が豊かになるのだと思います。そして、雇用が新たに生まれるなど多くの原発による経済効果があって、地域に強く結びついていることに感心しました。そして、ディベートとしての知識もいただきました。地方の原発による依存型経済に対して、廃止されたら余計大変なこと、地域では実際に賛成の意見があるため大丈夫だと言えること、そして、抜け出して他のことをするには何が可能かという代替案を考える必要があることを知りました。新しい知識をもとに、もう一度改めて原発を知るきっかけになり、深く考えさせられるものだなと思います。賛成にとってはさまざまな原発だけにもつ利益があり、反対にとってはどうしても避けられないリスクの事実があります。正解のないこの問題に対して、議論を進めていく中で自分の中の意見をしっかりと持っていきたいです。

原子力発電所についてメリット、デメリット含めて知ることができました。反対派の意見、例えば、周辺地域にはリスクしかないというような意見は初めて知りました。また、発電の種類で役割を分ける考え方は新しい知識です。また政治家としての話し方なども聴くことができました。相手の反論を考える、反論に反論をするために重要な点、優先したい点を出すというところは、ディベートにつながる場所があります。生かしていきたいです。

原発について考えていく中で参考になる事を沢山の知ることができました。個人的には、事故の危険性がある中で原発を進めていく理由があやふやになってしまっていたので、様々なメリットを知ることができ、考えを改めるいい機会となりました。また、核廃棄物について疑問があった部分があったため、色々な事を知ることができ、参考になりました。今まで原発について調べてきましたが、沢山の情報がありどれが事実か分からない状況になってしまっていたのですが、今回のレクチャーで、頭の中を整理することができ有意義な時間となりました。

今日の山浦先生のお話を通して、原発に関する知識だけでなく、政治家という仕事についても知ることができました。特に、今の再生可能エネルギーでは、完全に日本のエネルギー供給をすることができない理由に納得しました。今回のこの貴重な機会を無駄にしないよう、日々の練習に熱心に取り組みたいです。今日は本当にありがとうございました。

私は、原発は、ただ二酸化炭素を排出しないことと、エネルギー転換効率がいいことだけが利点だと思っていたけど、今の日本のエネルギー社会にとってとてもいい発電方法だと思いました。日本は化石燃料に乏しいし、自然環境の変化も大きいので、原発は推進すべきだと思います。だから、処理水の問題は早急に解決すべきですが、処理水処分場は、みんなで、負担を分散化するしかないと思いました。本当は、原発を利用している県で、処分すべきなんだろうけど、それは不可能出し、日本全体の問題です。そして処理水と、安全性の問題を解決出来れば、その後の利益は計り知れないと思います。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

原発について部員全員が気になっていたことを各々聞かせていただいて、とても貴重な経験になりました！これからは今日の講義を活かしてより深い議論ができるように精進します。個人的に核ゴミに関する議論に興味を持

つことができました！

お忙しい中、本当にありがとうございました。私はこれまで、原発に対して浅い知識しかもっていませんでした。しかし、山浦先生のお話を通して、原発のメリット、デメリットや、今後の課題等、多くの事を学ぶことが出来ました。また、原発に対する、より深い知識を身につけたいと思うことも出来ました。個人的に、メルトダウンについて興味をもったので、調べてみたいと思います。原発は、私たちの生活に関わっているので、山浦先生から学んだことを活かし、原発に対する考えを深めていきたいと思います。そして、今後のディベートのみならず、生活にも活かしていくことができるように頑張りたいと思います。貴重なお時間を割いていただき、本当にありがとうございました。

今までは原発に関して何となくの知識しかなく、なぜ原発が必要なのか、何が課題なのかなど、考えを深められていませんでした。しかし、今日のお話を聞き、理解できたことが多くありました。特に、安全性を技術の面でも、制度の面でも確保しているというところは、新しい視点でした。また、発電のベストミックスや、核廃棄物の処分場など、これから議論していくべき課題についても先生のお考えを伺うことができ、良かったです。他にも議論のときに気をつけていることなど、ディベートに役立てられそうなコツも分かりました。

原発の motion を扱う上で、なぜ使うのか、という点は基本的でありながらも押さえることができていなかったもので、この機会に知ることができて良かったです。政府の意図の説明を交えたお話で、現在の政策の合理性と、それでも対処仕切れない核ゴミなどの問題の関係への理解が深まりました。また、それぞれの発電方法のメリット、デメリットの調整が不可欠であるということは、ディベートのスタンスとしてはあまり取ってきませんでした。特に印象に残りました。原発を、論題としてではなく、社会課題として見て、どうしていくべきなのか考えようと思う機会にもなりました。

原子力発電だけでなく、火力発電や再生可能エネルギー、政治などについてなど様々な面で知識を得ることが出来ました。私たちは、ほとんどネットで調べて情報を得ているので、直接お話を聞くというのはとても貴重な機会でもとてもためになりました。私たちはディベート中にたくさんの疑問を持つのでそれらにとっても詳しく教えて下さり、これからの試合はもちろん、ほかの場面でも活かしていこうと思います。完全無欠なエネルギーがない中でそれぞれをバランスよく使っていくこと、そして、デメリットを補い合いつてより良い電力供給をすることが大切だと思いました。また、立論をする時は反論を考えた上で立論を主張することを常に心がけることが大事であると改めて気づきました。今日の講座を活かして、これから大会で良い結果を残せるよう、頑張ります！
"私は原発について、はじめてこんなにもたくさんの問題があると知りました。私は、原発がなくなるとエネルギーがへるな、くらいにしか想像できていませんでした。しかし今回のお話を聞いて、原発がなくなることは雇用が減ることにもつながるという新しい視点を持つことができました。色々な角度からその問題について深く知ることの面白さを改めて感じました。

本日は貴重なお話をありがとうございました。

原発の論題について調べていくうちに視点が偏ってしまったり、一歩引いて俯瞰するというのが抜け落ちてしまうことがあったのですが、今回のレクチャーを聴いて頭を整理することができました。ネットでは探せなかったことや実態なども知れて、原発問題への理解が深まったと思います。エビデンスなどではなく、アカデの方向性のようなものを見つけ出せる機会になりました。レクチャーで学んだことをもとにアタックの視点を増やしていきたいです。

先生の講義はもちろん、質疑応答の際に非常に丁寧に受け答えをしてくださり、ありがとうございます。一つの観点について質問をした際、その返答を他の内容と関連付けて、我々により濃い視点をもたらしてくださいました。個人的に印象に残ったお話としましては大きく2つあり、1つ目は地域経済に対するお話です。自分の調べた段階では、税金がある、という認識が全てでしたが、そこから、地域経済だけでなく仕事をもたらしているという話へとつながって、原発のある現場の、自分が全く知らなかったリアルを知ることができ、ありがたかったです。立論の上でも非常に役に立つ内容で、考えの深掘りができました。2つ目は安定供給に対するお話です。グラフを用いた説明が非常にわかりやすく、また「ベースロード」という、今まで我々にはなかった観点から原発の利点を学ぶことができました。部活の仲間と、再生可能エネルギーや安定供給に対して話をしていた時には、安定するのかわからないのか、判断材料の不足によってわからない、結論の出せない状態になっていて、今回の話をきっかけにさらに伸ばしていけるポテンシャルが見えたことが非常に嬉しいです。調べるだけでは知ることのできない、現地の声や批判の例などの内容を今回たくさん伺うことができ、内容だけでなくやる気や、立論を作る上での気持ちのベースに変化がありました。これからさらに深まった議論ができると確信しているとともに、非常に嬉しく思います。本当にありがとうございます。

今日のお話しをお聞きして印象に残ったのは原子力発電には様々なメリットとデメリットがあってそれが複雑に関係し合っているということです。安全対策については原子力発電では冷却が最も大事なのだとわかりました。冷却装置が津波などで壊れると建物が溶けて放射性物質が漏れ出すなどするため、安全性を確保するためには冷却装置は本当に安全な場所に置くことが大切だと思いました。また、戦争について考えるとミサイルが日本に墜ちて危険だと考える事も出来るが輸入出来なくなることを考えて推進するべきだと考える事もでき、一つの観点で見ても多様な考え方ができるのだと感じました。エネルギー供給に関しては、再生可能エネルギーで代替をすればよいと考えても、季節や天候、昼夜を問わず安定してエネルギーを供給するためにはベースロード電源として原子力発電というものが必要と考える事が出来るのだとわかりました。同じことについて考えても立場等によって状況も変わるため首相や知事のように全体の人々についてそれぞれの立場で考えることを大切にしていきたいと思いました。

今日は、貴重なお話をありがとうございました。原発賛成派として、どのようなことを言えば良いかを詳しく知ることが出来ました。先生は日本国内の問題や状況だけに目を向けるのではなく、視点を変えて海外の情勢を踏まえた上で議論をすると良い、ということをやっている、このことをこれから気をつけながら広い視点を持ってディベートしようと思いました。私は社会情勢の知識が浅く、今まで日本国内の問題ばかりに焦点を絞ってしまっていたけれど、ウクライナ戦争など、今だからこそ起きている世界のこともっと考慮できるといいのかなと思います。また、私が課題としていたポイントとしては、事故のリスクを減らすために政府などが取っている対策をどれだけ示せるかなのですが、詳しく教えて頂けて本当に助かりました。冷却するための措置、津波を避けるための高台への設置、万一放射線等が外に出た時の収容施設、非常用発電機など、様々な方法を学ぶことができたので、上手く英語で説明できるかどうかは分からないけれど、表現できるよう頑張ります。私たちの班で押している原発のメリットとしては、電力供給の安定(電気代も安い)と、原発の交付金によって地域が利益を得られる、という点です。先生のお話の中で特に参考にさせて頂こうと思ったことは、「仮に再エネで原発を廃止したぶんの電力供給を賄うとしても、基本的に電気は作った瞬間に消費されるものであるという性質に従えば、再エネによる時間や天候に左右される不安定な発電ではまかないきれない。また、火力と両方使うという方法をとった場合でさえ、多少のブレはあり、ベースロードにさえ届かないこともありうる」ということです。このようなことを聞くと、やっぱり原発必要なんだなって実感します。また、交付金については、私たちの班で雇用については軽く触れる程度であまり雇用について言及できていないのですが、たしかに雇用が生まれて地域の経済へのプラスの影響へと持っていくこともできるなと思いました。ひとつの利点や悪い点にだけ焦点を当てて

考えるのではなく、考えられる様々なメリットデメリットを総括して、客観的に見た上でどちらの方が優れているかを主張するのは、難しいことではあるけれど、普段のディベートでも意識できる人になりたいです。さらに、原発についての内容だけではなくて、データの扱い方についても教えて頂けて、この情報化社会の中で大切なことを学ぶことが出来ました。私は今までディベートで使う情報などを何も考えずに鵜呑みにして引用してしまうことが多々ありました。けれども、本当にその情報に信頼性はあるのかということを感じながらできるようになりたいです。また、文章を書いて発信することで人はその議論を深められる、というお言葉を聞いて、たしかにそうだなと改めて理解したし、誇りを持ってディベートを続けたいと思えました。今日は本当にすごくいい経験になりました。大会まであと数日しかありませんが、教えて頂けたことを生かして、前進できるように頑張ります！本当にありがとうございました！！

初めに原発推進派だと聞いて、「絶対原発推進以外ありえない！」というような考えの方かと思っていたのですが、反対意見もしっかりと考慮していることが伝わってきて、信頼されている議員さんなのだろうと感じました。特に印象に残ったのは、[これからも、発電についての議論を続けていく必要がある]ということです。僕はこれまで、最適解を決めるために議論をしているのだと思っていましたが、コレだという答えを見つけるのは難しく、半永久的に議論を続けていくことが、社会をより良くするために大切だと気付きました。また、[制度で信頼を得る]という考えが、なるほどと思いました。どのような方策でも、必ずデメリットがあるし、納得してもらえない人も必ず出てきてしまいますが、適切な制度を設けることで、より多くの人の賛成を得られ、デメリットもカバーできるようになると思います。先生のお話を聞いて、発電方法について考えました。先生も仰っていたように、完璧な方法はない中で最も良い方法は、再生可能エネルギーをベースに、発電量の調節の為に火力や原子力を使うことだと考えました。しかし、それでは今の発電量を賄うことは難しいと思うので、電気の使用量を減らす必要があります。そこで、多くの人が節約を意識することで、持続可能で快適な社会を作っていけるようにおもいます。将来のことも考えて、日頃から電気の使い方を意識したいと思いました。今日の講演を受けて、たくさんの方の考えを知るとはとてもためになると改めて感じました。昨日まで、今日のことを何も知らなかったのかと思うと、これからもこのような機会をたくさん経験したいと思いました。今日学んだ新しい視点を、これからのディベートに活かして、より深い議論ができるようにがんばります。

原発を肯定されている方のお話を伺うのは初めてだったので、原発について新しい視点で考える良い機会になりました。これからのディベートにいかしていこうと思います。

今回は、貴重な講座を私たち国際教養部にして下さり誠に有難うございます。

私は、原発についての知識をあまり持ち合わせていませんでしたが、山浦先生のおかげで、多方向からの考え方やメリット、デメリット、反論など、非常に多くの事について学び、講座の後に、私の友人と内容の整理&意見交換をしてさらなる考えを共有できました。また、一段とディベートにおける思考力の成長に繋がったと実感しています。

また、講座の中で特に心に残ったのは、[常に反論の予測をする]ということです。もちろん、原発に関する山浦先生の考えや情報も、楽しみながら学び、心に残っていることですが、それ以上に山浦先生の経験に基づいたこの教えが、最も関心し、これからのディベートの中で実践し、さらなる多角的な視点の向上に努めようとする所存です。

長くなりましたが、今回は本当に素晴らしい講座をお時間を取って下さり有難うございました。この経験をこれからも活かしていきたいです。

今まで知らなかった多くの考え方を学ぶことが出来ました。特にベースロード発電のお話は今まで全く知らなかったのでも勉強になりました。

原発のよくディベートで議論に上がるようなトピックについて、詳しく説明していただきありがとうございました。ベースロード電源の話や、ガバナンス、原発立地周辺の地域のことなど、今後深めていきたいと思う発見もありとても参考になりました。リスクへの安全対策についても 2011 から学んで生かされている具体的な措置や、組織を分断し安全性を監視できている状態にあるといったことなど参考になりました。また、廃棄物の最終処分についての問題は改めて原発稼働における重要な課題のひとつであると思ったし、それをどう解決できそうなのかについてディベートを通して深めていきたいなと思いました。

原子力発電は、もちろん簡単な問題ではないと思っていたけれど、思っていた以上に複雑な問題でした。個人的には、原発がある土地の人は賛成派で、周りの人は反対しているということが意外でした。また、廃棄物の問題も、なかなか手を付けにくく、政治家も避けているということが分かりました。私ももうすぐ有権者になるので、これからのことをちゃんと考えられる人を選べるようになりたいです。

たくさん経験を積んでいらっしゃる方からお話を聞くことができる機会をいただけてとても良かったです。原発についての議論は、はっきり答えがあるわけではないのでとても難しいと思いました。試合をするとすると自分のチームが勝てるにはどこをどうすればいいのかを考えているけれど、今回の講義はチーム関係なく 1 人の人間？として聞くことができました。なので、もっと原発を身近に感じて他人事ではないんだと実感しました。原子力は少ない燃料でしかも国内で電力供給できるのでベースを担ってる、とかゴミの最終処分場を喜んで議論する人がいないという現状など細かいところまで聞くことができ良い経験になりました。議論しても判断するのはとても難しい分野だなと感じました。

自分たちでネットなどで調べたりして分かっていたようで分かっていない部分が今回のお話ですごく明確になりました。今の原子力発電の現状や課題について深まった部分も多く、今後さらに討論していくべきだと思います。質疑応答にも沢山対応してくださったおかげで疑問に思っていたところをきちんと理解することが出来ました。本当にありがとうございました。

講義を伺う前にやったスピーチと、講義を伺った後にやったスピーチで質がかなり良くなったのを実感しました。補助金による地域活性化、ガバナンス、ベースロード、戦争時に攻撃を受ける可能性について考えたことがなかったので、自分の世界が広がって、とても新鮮で痛気持ちよかったです。原発だけが待ち得る、事故や、最終処分場、放射能などの問題についても触れてくださり、これアーギュメントやアタックで言えそうだなと感じることが多々ありました。福井県の現状にもお話を触れてくださり、実際かつ、身近なことと結びつけて考えることができました。そして、政治家の方だからこそその補助金などの恩恵は受けないが、事故発生時にリスクがある地域の人々などいろいろな人々のことを考えた大局観に驚かされるが多かったです。また、コスト面や、住民の納得など、一概にこちらがいいと言えないものに関して相対的に考えるということも学びました。今回の原発のモーションだけでなく、他のモーションにも生かせる考え方だなと感じました。とても貴重な機会をいただけたと感じています。

今回の講義を受けて、具体的なプロセスの内容や、政府は特定の事象に対してどの様に動くのか、例えば、二度目の原発事故が起きた際や、廃棄物処理容量が埋まった時、等、私達一年生が成長する中で刺激のある事実や、意向、を理解する事ができ、より、ディベートの世界にのめり込む事が先生のお陰で出来ます！最高の経験をありがとうございました！

完璧で理想的な発電方法はないということで色々議論が生まれそうだなと思いました。発電コストの点では安全装置のコストをどう捉えるのかや、事故を経て安全対策はどうなっているのか、雇用はどうなるかなどはおもしろそうです。ガバナンス、核のゴミ、ベースロード電源については、新しい知識を得ることができてとてもためになりました。基準を設けるには賛成派だけの意見にせず、原子力規制委員会があることが大事だということや、ゴミの処分はお金で解決できるような問題ではなく緊急性はないけれど、いつかは必ず解決しなければならないし、プレートの動きなども慎重に調べなければならない重要な問題だなと感じました。ベースロード電源の話では安定した電力供給のためにはそれぞれの発電方法のメリットデメリットを理解したベストミックスが大事だと聞いて原子力を無くすというのにもリスクが伴うなと思いました。

今まで原子力発電について他人事のように考えていましたが、福井県の行政などの部分で深く結びついていることを知って驚きました。また、東日本大震災を教訓としてどのような対策を行っているのかを知って原子力発電についてもっと知ろうと思いました。核廃棄物の課題については私たちがしっかり考える必要があると思いました。

今回は、貴重なお話をありがとうございました。ディベートをする上で疑問に思っていたことを解消できて、とても良い機会になりました。原子力の利点を多方面から知れて良かったです。日本のエネルギー状況を考えると、調節しやすく、少ないウランで大量の電気を作れる原子力発電はリスクを考えても必要になってくると思いました。東日本大震災のときの被害を踏まえて、様々な対策が行われ、事故のリスクは低くなっていると伺いました。そのため、地震や津波が起こっても被害は最小限に抑えられ、電力供給の安定性と比べると、そこまでリスクを重視する必要はないのかなと思いました。また、政府でも多くの工夫をされていて、管轄を分けたり、原発のある地域の訪問をしたりなど、直接関わる地域の方や国民への配慮があることが分かりました。お話を聞いて、個人的に原発への悪いイメージが少なくなりました。これから議論を深めていく中で自分なりの結論を出せたいと思っています。

本日はお忙しい中貴重なお話を聞かせて下さりありがとうございました。調べてもなかなか分からない政策のお話や、原子力発電所を使用し始めた背景など、色々な観点から原発のことを詳しく分かりやすく教えて下さり、自分の中で原子力発電所について理解が深まったとともに整理することが出来ました。特に印象に残ったのが、原子力発電所に関するコストのお話です。原子力発電所のコストについては、ディベートの試合をしていて、「安い」「高い」と水掛け論になりがちなのですが、山浦先生が仰っていた安全対策などにかかる費用は原子力発電所のおかげでういたお金と比較するというのは新しい観点でとてもためになりました。また、ベースロードと変動のお話は初めて聞く内容であり、各発電方法の使い方を考える上でとても役に立つなと思いました。それをもとにすると、たしかに再生可能エネルギーだと変動が激しく、必要な時に作ることが出来ないの、原子力発電所を全て廃止して再生可能エネルギーを推進するということは難しいのかなと思いました。ディベートの論題で原子力発電所を調べ始めてから、自分たちの中で「これは実際どうなんだろう」と思うことがあってもインターネットにある情報を一生懸命探すくらいしかできることがなかったので、今日山浦先生にお会いして実際のお話をお聞きしたり、質問に答えていただけたのは、とても貴重な機会でした。ありがとうございました。

貴重な講義をありがとうございました。今までは、生徒の間で考えを共有したり、インターネットで原子力発電を調べるなどしたりしているだけでしたが、今日、実際に山浦先生のように、政治に関わっていらっしゃる方の視点で原子力発電をどのように捉えているかを詳しく知ることができたことで今まで考えていなかった、原子力発電の他の面を踏まえて考えていくことができようになれたのではないかと思います。ありがとうございました。本日はお忙しい中貴重なお話をしてくださりありがとうございました。今日のお話を聞いて、一番の問題だと思

った点は原発での補助金が貰えない周辺地域はただリスクだけを背負わされているという点です。また、使用済み燃料の最終処分場はお金を払うことで置かせてもらうという解決策はどうかという質問に分かりやすく答えたいへん勉強になりました。ディベートの大会で良い成績を残す事が出来るよう、今日教えていただいたことを参考に頑張ります。

今回は僕たちのためにわざわざ原発についての話をしてくださってありがとうございました。僕が今回のお話で特に印象に残ったのは原発の安定性です。お話を聞くまで、僕はエネルギー発電を全て再生可能エネルギーにすればよいのではと思っていました。しかし、再生可能エネルギーというのはコストが高く、さらに天候に左右されやすいので安定性が低いというお話を聞いて原発は日本にとって必要なかとも思うようになりました。この学びをこれからのディベートにはもちろん、さらに、10年後、20年後、僕たちが大人になって社会を担っていくことになったときにも活かして行こうと思います。

原子力発電所は、少し悪いイメージが強かったけど、原子力発電所が立地地域にもたらすメリットも意外にたくさんあり、福井県もその恩恵を結構受けているということを知れてよかったです。

今回は貴重なお話をどうもありがとうございました。今回は原発についてより知識を深めることができました。特に、何度も仰っていた「これ一つで全て解決するという発電方法はない」というのが印象的でした。それぞれの特性によってメリット・デメリットがあり、一部分だけでなく全体的に見て考えるべきだということがわかりました。ベースラインという言葉も初めて知りました。また、官僚の視点からのお話も新鮮で面白かったです。初めて知る知識や新たな視点の発見がありました。些細なことですが、原発に対する観点をいくつか書いた紙を配って下さったことで、より質問が考えやすく有り難かったです。改めて、お忙しい中ありがとうございました。